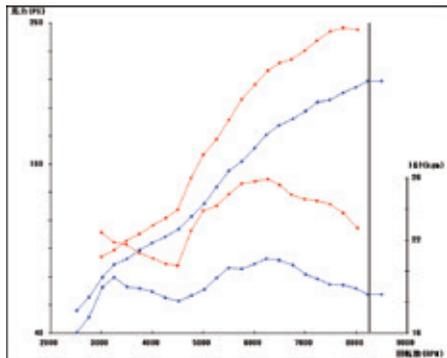




S2000[AP1]専用ユニットのF20C

F20C型エンジンはS2000前期型[AP1]専用ユニット。レッドゾーン9000回転を実現した超高回転仕様だが、サーキット走行などでは低中回転域でのトルクアップを求める声が多いのも事実。初期モデルでは登場から20年以上が経過している「ネオクラシックカー」であるため、OH代わりに換装するというもあり!



**最高出力は40PS以上、
最大トルクは4kg-m以上アップ**

エンジン組み付けにおいては、TODAレーシングがモータースポーツの現場で培ってきたノウハウがふんだんに盛り込まれ、エンジン各部の寸法と重量合わせや、クリアランス管理などがシビアに行われ、大幅なパワー&トルクアップを実現。



専用シリアルプレートが付属

NSX-RやDC2型インテグラ・タイプRのエンジン制作を思わせる、職人の手作業により生み出されるF型コンプリートエンジン。1基ずつシリアルプレートが装着され、その内容は管理される。

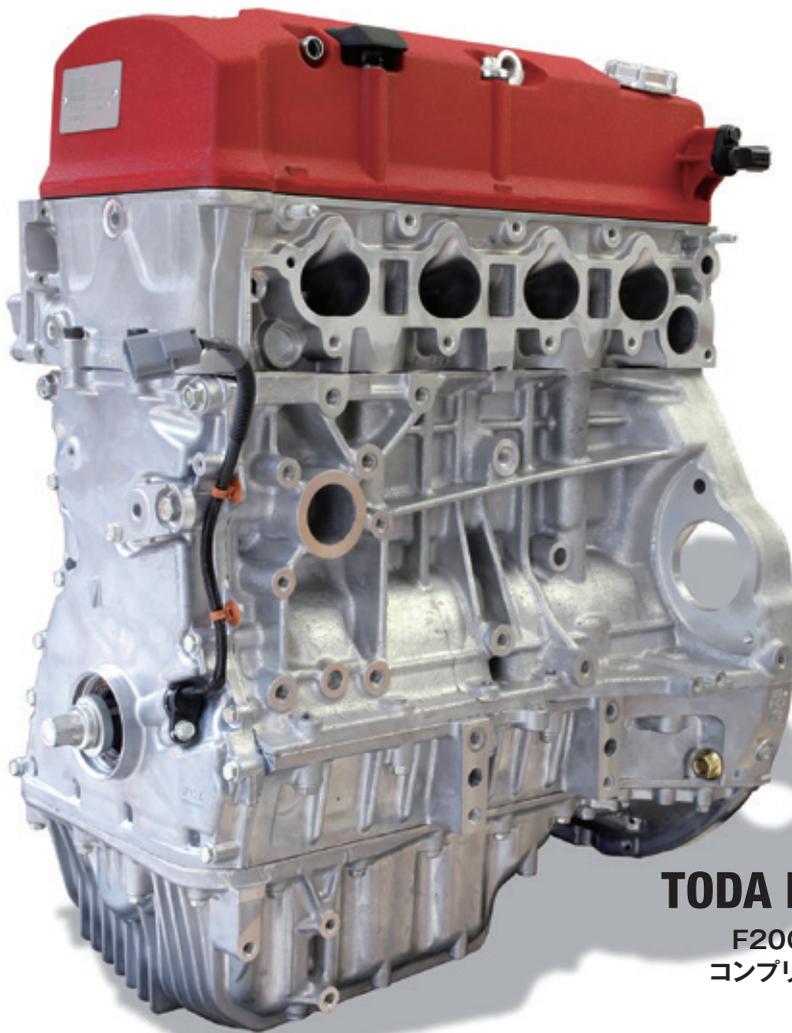


オイルフィルターキャップは削り出し

コンプリートエンジンには、専用のオイルフィルターキャップが標準装備される。なお基本的にはF20Cユニットをベースにしているが、F22Cブロックでの製作も可能とのこと。興味のある方はぜひTODAレーシングまでお問い合わせを。

F20C 2350仕様 コンプリートエンジン

ベースエンジン	新品組み立てベース	中古エンジン持ち込みベース
ボア×ストローク	87.0×99.0mm	87.5×99.0mm
排気量	2354cc	2381cc
圧縮比	12.3:1 (応相談)	
最高出力 (エンジンベンチ)	純正比40PS (29.4kw) 以上アップ	純正比40PS (29.4kw) 以上アップ
最大トルク (エンジンベンチ)	純正比4kg-m以上アップ	純正比4kg-m以上アップ
許容最大回転数	8000r.p.m.	
初動確認 (初期ならし)	エンジンベンチにて確認	
出荷形態	段ボール専用箱 (※返却不要)	
エンジン下取り	下取りなし (新品組み立て)	下取りあり
定価 (税込)	253万円	192万5000円



TODA RACING

F20C/2350仕様
コンプリートエンジン

[レース用コンプリートエンジンが新発売]

サーキット走行を楽しむS2000オーナー必見!! F型究極チューンのコンプリートエンジンが登場

モータースポーツの世界における活躍をはじめ、エンジンパーツビルダーとしても知られるTODA RACING (戸田レーシング)。これまでもホンダ車用ピストンKITやカムシャフトなど発売されていたが、今回はF20Cをベースとしたコンプリートエンジンが新発売。排気量は約2350cc、純正から約40ps以上のパワーアップを実現する究極のNAユニットだ。

text: Kentaro SABASHI (佐橋健太郎)
取材協力: 戸田レーシング (TEL: 0866-83-1202) www.toda-racing.co.jp

モータースポーツの現場で鍛え上げられた、高性能なチューニングパーツを開発・販売する戸田レーシングから、究極のF型エンジン「F20C/2350仕様コンプリートエンジン」が新発売。

製品は新品ブロックベース/中古ブロックベースの2種類が存在し、新品ブロックの場合は87mmボア、中古ブロックの場合は87.5mmボアのTODAレーシング製

ハイコンプ鍛造ピストンを組み合わせる。いずれもストロークは99.0mmで、純正の84.0mmからは超ロングストローク化。排気量は新品ブロックベースが2354cc、中古ブロックベースの場合は2381ccとなる。

ヘッド周りはポート研磨や燃焼室加工などくまなく手が加えられ、同社のA2タイプ・ハイカムシャフトで高回転域のパワー追従性を向上。さらにビッグバルブ化した上で、レース用のシートカットも施し、排気量アップの恩恵を最大限まで引き出す策が講じられている。これによりノーマルに比べて約40ps/約4kg-mのパワーアップを実現。圧縮比は12.3:1が標準で(相談可能)、レブリミットは8000rpmとのこと。

価格は新品エンジンベースが253万円、中古エンジンベースが192万5000円。気軽に購入できる価格帯とは言えないものの、至高のF型エンジンとして、S2000オーナーには気になる1基となりそうだ。